

## ヒト由来のプロテインキナーゼCβアイソザイム、再組換え

Cat. No. NATE-0621

Lot. No. (See product label)

### はじめに

#### 【明】

プロテインキナーゼC (PKC) は、セリン/スレオニンキナーゼであり、さまざまな活性化されたホスホリパーゼの作用を通じて、ホスファチジルイノシトール二リン酸 (PIP2) およびホスファチジルコリン (PC) からDAGを生成するシグナル伝達路によって細胞内で活性化されます。フォルボールエステルもPKCを刺激します。少なくとも11種類のPKCアイソザイムが同定されており、これらは一次構造、組織分布、細胞内局在、細胞外シグナルへの応答、および基質特異性において異なります。アイソザイムは3つのサブファミリーに分類できます。最初のファミリーのメンバーはCa2+およびホスホリビッドを必要とし、PKC $\alpha$ 、 $\beta$ I、 $\beta$ II、および $\gamma$ が含まれます。第二のファミリーのメンバーはホスホリビッド依存ですがCa2+非依存であり、PKC $\delta$ 、 $\epsilon$ 、 $\eta$ 、および $\theta$ が含まれます。第三のファミリーのメンバーはDAGまたはフォルボールエステルによって活性化されず、PKC $\xi$ 、 $\mu$ 、および $\iota$ が含まれます。

#### 別名

PRKCB; PKCB; PRKCB1; PRKCB2; プロテインキナーゼC、ペータ1; プロテインキナーゼCペータ型; PKCペータ; EC 2.7.1.37

### 製品情報

#### 種

人間

#### 由来

バキュロウイルスに感染した昆虫細胞

#### 形態

緩衝された水性グリセロール溶液; 20 mM HEPES、pH 7.4の溶液; 2 mM EDTA、2 mM EGTA、5 mM DTT、100 mM NaCl、0.05% Triton X-100、および50%グリセロール。

#### EC番号

EC 2.7.1.37

#### 分子量

apparent mol wt 79-80 kDa

#### 純度

> 95% (SDS-PAGE)

#### 代謝ルート

B細胞におけるNF-kappaBの活性化、特定の生物系; 適応免疫系、特定の生物系; アフリカトリバノソーマ症、特定の生物系; アフリカトリバノソーマ症、保存された生物系; アルドステロン調節ナトリウム再吸収、特定の生物系; アルドステロン調節ナトリウム再吸収、保存された生物系; アメーバ症、特定の生物系

#### 機能

ATP結合; アンドロゲン受容体結合; クロマチン結合; ヒストン結合; ヒストンキナーゼ活性 (H3-T6特異的); リガンド依存性核受容体転写共活性化因子活性; 金属イオン結合; ヌクレオチド結合; タンパク質結合; プロテインキナーゼC活性; プロテインキナーゼC結合; 亜鉛イオン結合

#### 単位定義

1ユニットは、pH 7.4、30°Cで1分間にヒストンH1に1 nmolのリン酸を転送します。

### 保管・発送情報

#### 保存方法

-70°C